

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

科 目 名		科目コード	単位数	開講期	講義形式
フォロワーシップ・リーダーシップ特論		Z 147	1 単位	3 学期	ハイフレックス
Followership Leadership					
科 目 分 野		課 程 領 域			
リーダーシップ		イノベーションマネジメント共通科目			
担 当 教 員 名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー			
伊藤 俊幸	-	メールアポイントメントにて随時			

関連している科目(履修推奨科目)		
リーダーシップ要論	リーダーシップ特論	

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

「指示をしてもメンバーの行動や理解がバラバラで困っている。」これはリーダーを支えたり従う方法が人それぞれ異なるからだ。一方リーダー自身も答えを持たないVUCAの時代にあつては、リーダーはメンバーの自律的な活動を促進する必要があり、そのため高い倫理観や精神性が求められるようになってきた。これらを解決するためには、フォロワーシップ論とサーバント・リーダーシップ論を学ぶ必要がある。

到達（修得）目標

講義やケーススタディ・演習を通じて、リーダーとしての資質・統率力の向上を図る。

受講対象者

イノベーションマネジメント専攻の全受講生

履修上の注意事項やアドバイス

★出席は極めて重要

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域（Y軸）		ヒューマンパワー（Z軸）		思考プロセス（X軸）	
Y1: 基盤法令・テクノロジー	○	Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	○
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	○
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	○
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力	○	X5: 変革	○
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	○
		Z7: リーダーシップ力	○	X7: 評価・検証	○
		Z8: ネゴシエーション力	○	X8: リーガルマインド	○
		Z9: オーナーシップ力	○	X9: ライフサイクル	

プラクティカム

イベント / ケース		教育技法	マテリアル / ツール
1	独自コンテンツの講義	講義	PPT
2	日本企業事例集から	ケーススタディ	要 購入
3	日本企業事例集から	ケーススタディ	要 購入
4	日本企業事例集から	ケーススタディ	要 購入
5	LPC尺度	演習	当日配布
6	論理的思考力	演習	当日配布
7			
8			

評価の方法		
(総合評価項目と割合)		評価の要点
出席・受講態度	10%	クラス貢献ではクラスでの発言の量と質を加味する。発言がなければ当然、不可となるので注意のこと。ディスカッションや討議での的確な発言内容を評価する。毎回、事務室より出席簿を準備する。
クラス貢献／討議・ディスカッション	40%	
レポートの提出	50%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	必要な資料を配布する。	
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	『参謀の教科書』伊藤俊幸著(双葉社) 『ケース・スタディ 日本企業事例集』ハーバード・ビジネス・スクール著(ダイヤモンド社)	
参考URL		
適宜紹介予定		

コマ	学習内容		事前準備・課題	担当者	時間
1.2	フォロワーシップ論			伊藤	180分
	イベント	{演習}フォロワーシップ度確認			
3.4	サーバントリーダーシップ論		『事例集』を読んでおく	伊藤	180分
	イベント	ケーススタディ			
5.6	「リーダーとしての資質の向上:コンセプチュアルスキル・気づき・先見力」		『事例集』を読んでおく	伊藤	180分
	イベント	ケーススタディ			
7.8	「統率力の向上:エンパワメント・パワーと影響力」		『事例集』を読んでおく	伊藤	180分
	イベント	ケーススタディ			

※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。

※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。

※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。